

大会名 Competition	第21回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO, M-111	Year Month Day Time 2008 年 5 月 5 日 9 : 00
場所 Place	能代市総合体育館



チーム A		チーム B
新潟商	(13 1st 30 16 2nd 21 24 3rd 15 18 4th 16 OT)	明成
71 ●		82 ○

主審:Referee
石田 祐二 神奈川県
副審:Umpire
升屋 章 秋田県

テーブルオフィシャル:Table officials
能代高等学校

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	榎坂 健人	CAP	11	1	2	4	2	4	×	藤井 則希	CAP	10	0	4	2	5
5	×	近藤 大		4	0	0	4	5	5	／	佐藤 文哉		12	2	3	0	3
6	×	山崎 将也		19	2	6	1	2	6	×	石川 海斗		6	0	3	0	4
7	／	五十嵐 良心		0	0	0	0	2	7	／	菅原 浄		12	0	6	0	2
8	×	小野寺 弘晃		6	0	2	2	0	8	／	松澤 大晃		0	0	0	0	1
9	／	田村 亮		1	0	0	1	0	9	×	小野 大貴		21	0	9	3	3
10		小林 裕太郎		-	-	-	-	0	10		高田 歳也		-	-	-	-	0
11	／	中村 博		0	0	0	0	1	11		圓山 慧		-	-	-	-	0
12	×	新保 寛人		30	6	4	4	1	12		菊地 大		7	-	-	-	0
13		佐藤 寛人		-	-	-	-	0	13	×	畠山 俊樹		7	1	2	0	3
14		亀山 亮		-	-	-	-	0	14	×	新妻 一輝		12	0	6	0	4
15		萩野 晃平		-	-	-	-	0	15	／	宮澤 耀佑		0	0	0	0	0
16	／	岩淵 俊紀		0	0	0	0	1	16		杉本 健将		-	-	-	-	0
17	／	安保 睦		0	0	0	0	0	17		安藤 誓哉		-	-	-	-	0
18		村越 俊紀		-	-	-	-	0	18	／	我妻 典明		2	0	1	0	1
コーチ		中屋 廣昭							コーチ		佐藤 久夫						
アコチ		丹波 浩之							アコチ		細野 真						
合計				71	9	14	16	14	合計				82	3	34	5	26

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P* イントシュート 2P:2P* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

新潟商は試合開始からフルコートマンツーマンプレスで前線からプレッシャーをかけるが、明成のスピード豊かなガード陣は素早い切り換えからいとも簡単にディフェンスを抜き去り、#5石川、#4藤井らが次々とイージーなレイアップシュートへとつなげていく。明成の堅いハーフコートマンツーマンを新潟商が攻めあぐむ一方、明成#9小野が切れ味鋭い1対1から連続8得点、8-24と明成が大きくリードを奪う。新潟商はタイムアウトから立て直しを図るものの試合の流れは変わらず13-30で第1Qが終了、序盤は明成が新潟商を圧倒する。

第2Qに入っても試合は明成ペース。#4藤井のスティールからの速攻、#9小野のジャンプショットでリードを広げる。明成のしぶといリバウンドとディフェンスの速い戻りに新潟商は得意の速攻を封じられた上、相手のファウルから得たフリースローの成功率も今ひとつで得点が伸びない。明成は#9小野がよくオフェンスリバウンドにからみ加減、21-47とこの試合最大のリードを奪う。一方的な試合になるかと思われたが、終盤に途中出場の新潟商#6山崎がパワープレイで連続得点、新潟商29-51明成として後半に望みをつなぐ。

第3Q、新潟商は#4榎坂、#12新保の3Pが連続して決まり息を吹き返す。明成のポイントガード#6石川が開始3分で4つ目のファウルでベンチに下がると、新潟商のフルコートディフェンスが効き始め明成はオフェンスのリズムを失う。新潟商#12新保の3Pが決まり43-57となったところで明成はたまたまタイムアウトを請求。しかし勢いに乗った新潟商はその後#12新保が3P、ドライブインからのバスケットカウント等で活躍、新潟商53-66明成と勝負の行方は分からなくなる。

第4Q、明成は#7菅原のフェイドアウェイシュート、#5佐藤の3Pで再び突き放しにかかるが、新潟商も#12新保の3P、#6山崎のドライブでしぶとく食い下がる。明成は4ファウルの#6石川を残り5分でコートに戻すが、新潟商は#4榎坂の1対1、#6山崎の2本の3P等で一步も引かず、白熱した攻防が続く。しかし明成も落ち着いたプレイで終盤をコントロール、残り1分で#5佐藤が難しい体勢から3Pを沈めて勝負あり、新潟商71-82明成で試合終了。両チームのひたむきなプレイに会場から大きな拍手が贈られた。